



教材を作成する推進員（上）、「SDGsカルタ」を楽しむ子どもたち（下）

7月29日（土）～30日（日）に、TEAM MATEひろしま交流会（第1回）「教

TEAM
MATE
ひろしま

府中町脱温暖化市民協議会が作成した「SDGsカルタ」は、小学校3年生から中学生を対象とした、絵札がA2サイズの大きなカルタです。SDGsの17のゴールを1枚ずつカルタで「断熱窓ワークショップ」を開催してきました。

府中町脱温暖化市民協議会が作成した「SDGsカルタ」は、小学校3年生から中学生を対象とした、絵札がA2サイズの大きなカルタです。SDGsの17のゴールを1枚ずつカルタで「断熱窓ワークショップ」を開催してきました。

この研修に参加した団体のうち、府中町脱温暖化市民協議会は、「SDGsカルタ」を作成し、府中町公衆衛生推進協議会と協働で、9月15日（金）に、府中町立府中中央小学校4年生の「環境学習」で、「SDGsカルタ」を実践しました。

SDGsは、小学校の授業でも学習している

テーマですが、カルタやクイズにするこ

とで、楽しく学ぶことが

できました。

参加した児童から「自然の大切さがよく分かった」などの感想がありました。

完成した8つの教材

教材づくり研修を開催

作成した教材を活用した実践も

教材づくりを開催し

6団体9人が参加し

て、8つの教材を作成

しました。

今回の学習・交流会

は、一泊二日の宿泊研修で教材を作り上げる

という、非常にタイトな研修でしたが、参加者が事前に準備をしておらず、完成することことができました。

この研修に参加した

団体のうち、府中町脱温暖化市民協議会は、「SDGsカルタ」を楽しんで学習することができます。

これで、SDGsの解説を読んだり書かれている

SDGsの解説を読む

と絵札を1セット用意しました。推進委員が読み札を読み、絵札を取った児童には、絵札に書かれている

SDGsの解説を読む

ことができます。

また記載し、楽しく学ぶことができます。

府中町立府中中央小学校4年生は5クラス137人で、クラスごとに絵札を1セット用意しました。推進委員が読み札を読み、絵札を取った児童には、絵札に書かれているSDGsの解説を読むことができます。

夕方記載し、楽しく学ぶことができます。

府中町立府中中央小

学校

は、脱温暖化センターへ記載し、楽しく学ぶことができます。

ひろしまの貸出教材と

して整備しています。

は、脱温暖化センターへ記載し、楽しく学ぶことができます。

行政において欠かせない
広島県の動物愛護管理
が多いため、広島県の動物愛護推進員は、広島県の動物愛護推進員として活動しています。

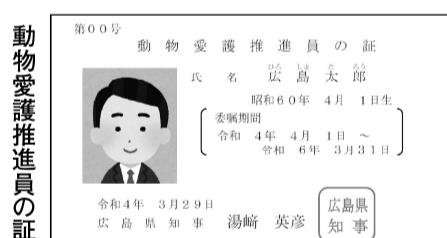
現在、県内13市町※
でさまざまな資格を持つ
動物愛護推進員は、
活動を行う人材として
県は、「動物の愛護
及び管理に関する法
律」に基づき、県の政
策に協力し、動物愛護
活動を行う人材として
動物愛護推進員を
委嘱しています。

「動物愛護」と「適正
飼養」の重要性について、
県民のみなさまに
伝えていく地域の身近
な相談者です。



動物愛護センターのオープニングイベントでは、動物愛護推進員が、迷子札作成や啓発パネルの展示などを行いました。

動物愛護推進員の証



渡会)、県と協力して
の災害時動物救護活動
などがあります。

動物のことについて、
推進員に話を聞いてほ
しい、相談してみたい
などのご希望がありま
したら、県動物愛護セ
ンター(0848-6
0-8511)までご
連絡ください。

安心して相談してください。
（広島県健康福祉局
食品生活衛生課）

地域の身近な相談者として活躍

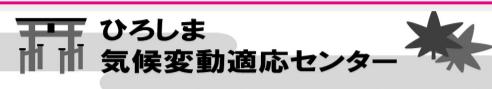
動物愛護推進員について



知らない！という方
が多いのではないかと
思いますので、今回は
広島県の動物愛護管理
について欠かせない

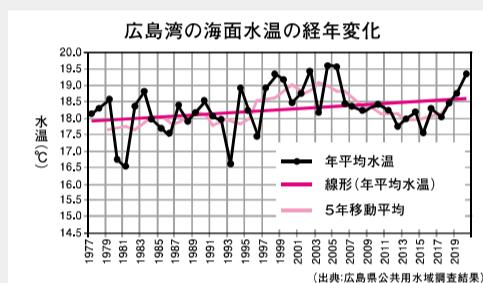
みんなは「動物愛
護推進員」を知つてい
ますか？

100年間で1.24℃上昇 気象現象や自然生態系に影響



(9) 海洋への影響

日本近海の過去約100年間の年平均海面水温の上昇率は、+1.24°C/100年であり、世界全体の年平均海面水温の上昇率(+0.60°C/100年)よりも大きくなっています（「気候変動監視レポート2022、気象庁」による）。この値は、日本の気温の上昇率(+1.30°C/100年)と同程度の値です。日本近海は海域別で海面水温の上昇率が異なりますが、ほとんどの海域で、信頼水準99%以上で有意な海面水温上昇がみられています。



昨年度のセミナー会場の様子

また、広島県公共用水域水質測定結果(1979~2020年)によると、広島湾の水温は、10年あたり0.16°Cのペースで上昇しています（左下図）。データ取得期間が異なるため単純には比較できませんが、これは日本の平均海面水温の上昇よりも高い値です。

海水温は、気流や降雨などの気象現象だけでなく、海域や周辺陸域に生息する多くの生物、自然生態系に影響を及ぼします。

ひろしま気候変動適応センターでは、2023年12月1日(金)13:30~16:30に、「気候変動の海洋や瀬戸内への影響」と題して「令和5年度ひろしま気候変動適応セミナー」を広島県健康福祉センター（広島市南区皆実町一丁目6-29）で開催します（オンライン同時開催）。

今回は、海域及び瀬戸内の自然生態系に注目した内容となっています。11月26日(日)まで参加募集しますので、ぜひお申込みください（詳しくは二次元コードからHPをご覧ください）。



災害ボランティアセンターとは 被災者中心、地元主体、協働の3原則

（以下、災害ボランティアセンター）

「J」は災害ボランティアセンターではない、などの組織の限界、論理が優先され、被災者自身を置きざりにしてしまった過去をいさめ、被災者に寄り添うことを忘れないための「被災者

中心」。

1995年、阪神・淡路大震災を「ボランティア元年」とし、現在では、ほぼ必ず地元社会福祉協議会が主體となり、災害ボランティアセンターが設置されるようにな

りました。しかし、災害ボランティアが今のが災害役割を果たすのが災害ボランティアセンターとして、重要な役割として、重要な地域の困りごと、「何をしたい」ボランティア・支援者の思いを繋ぐ場所として、重要な役割を果たすのが災害ボランティアセンターです。

地域の困りごと、「何をしていいのか、誰に頼んでいいか分からぬ」そんな被災者、地域のボランティアセンターとして、重要な役割を果たすのが災害ボランティアセンター

が「被災者中心」「地元主体」「協働」の3原則です。そこで生まれたのが「被災者中心」「地元主体」「協働」の3原則です。

「何かしたい」「過去の災害ではこうだった」、ボランティア・支援者の思い、経験が先行し、被災者地域が疲弊した経験から生まれた「地元主体」。

行政だけ、ボランティア・支援者だけでは解決できない課題を何と



（特定非営利活動法人
ひろしまNPOセンター
増田 勇希）

「J」は災害ボランティアセンターではない、「協働」。

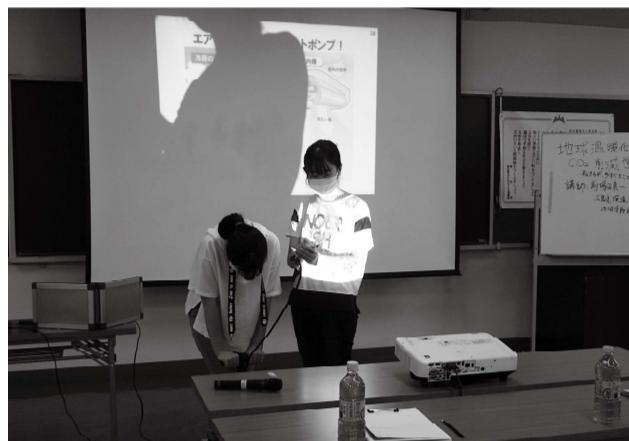
災害ボランティアセンターは、この3原則を踏まえ、被災者、地域とボランティア・支援者を結び、生活再建、地域復興に取り組んでいます。



2020年(令和2年)7月豪雨で、多機関が集まっての共有会議（上）、西日本豪雨（平成30年）で、地元主体でボランティアの受け入れを行なう（下）



ヒートポンプとは
空気に圧力をかけたり
減らしたりすることで
空気の温度を上げ下げ
する仕組みのことです。



ヒートポンプ実験機（上）、
加圧したペットボトルが温か
くなることを体験する受講者（下）

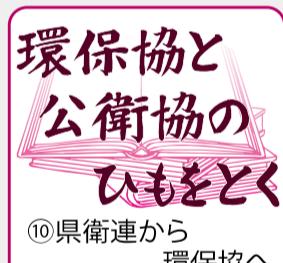
※本教材の一部は一般社団法人Forward to 1985 energy lifeより寄贈いただきました。

平成に入り活動テーマ多様化 技術や経理面で法人体制に限界

昭和時代の県衛連は、安定した団体として維持するためにさまざまな収益事業を展開しました。

健康分野では、生化学検査や集団検診の実施、人間ドックの開設など。生活環境分野では、食品や飲料水検査のほか、公害対策基本法を基礎とする各種検査・分析などに取り組みました。これらの事業で得た収益の一部は、公衛協活動の支援に充てられました。

しかし、時代が昭和から平成に移り変わり、公衆衛生の課題やコミュニティのあり方、地区のリーダー像も様変わりしました。課題ひとつとっても、地球温暖化やゼロエミッション（廃棄物の削減）、生活習慣病や心の健康などがあり、県衛連や公衛協が担うべき活動テーマは多様化し



ていきました。

こうした背景から、県衛連の経営力が先細りし、公衛協活動の支援が弱体化するのではという心配が高まりました。定款上の最高議決機関は総会で、執行機関は理事会で

したが、高い専門性を必要とする課題が増えるのに対して、審議する構成メンバー全員がコミュニティ出身者であり、専門性に欠けるという課題も浮き彫りとなりました。

さらに、事業に関する技術の進歩により、法改正の対応や設備機器の更新など、経理面も含めて社団法人体制での限界が感じられるようになつたのです。これらの課題を解決するため、社団法人である県衛連を解散し、財団法人へ移行するための議論と手続きが進められました。

そして、1995（平成7）年1月に代議員会と総会が開催され、「社団法人広島県地区衛生組織連合会」は同年3月31日で発展的に解散し、4月1日から「財団法人広島県環境保健協会」を誕生させることができ満場一致で決定しました。

（経営企画課 山下祐治）



平成7年 環保協発会記念式典

圧力による温度変化を体感 体験を通した学習で理解を促進



③ヒートポンプ実験器

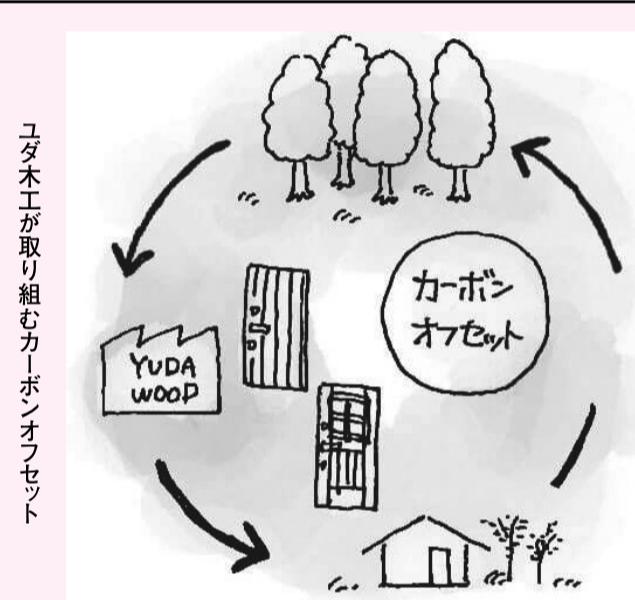
当協会では、ヒートポンプの仕組みを実際に体験することができます。

エアコンや給湯器などさまざまな電化製品用られています。この仕組みは、使用した電力の数倍のエネルギーを得ることができます。そのため、電気やガスで加热・冷却する方法に比べ、エネルギー使用量を抑えることができます。

当協会では、ヒートポンプの仕組みを実際に体験することができます。

エアコンの仕組みを理解するための体験学習として活用されました。参加者は、圧力によって実際に温度が変化することを体感しました。参考までに、驚き、楽しみながら学習していたように

ヒートポンプの仕組みを知るきっかけとしてみてはいかがでしょうか。（地域活動支援センター）



③ユダ木工株式会社

「国産の木」にこだわったドア製品 内部構造に断熱材を用いて断熱と気密

今回は、ユダ木工株式会社の環境に配慮した取り組みを紹介します。ユダ木工株式会社は、廿日市市にある住宅ドアを製造・販売する会社です。

「国産の木」にこだわり、ドア製品の98%

に国産ヒノキ材を使用しています。ヒノキは、腐朽に対する耐性も高く、ドアの素材に大変適しています。また、

この他に、ユダ木工株式会社で実施されている環境に配慮した取り組みは、木材を乾燥させるために使う燃料は、工場で出た木くずを使用して、木材を無駄にすることなく使い切る。

①木材を乾燥させるためには、木材を無駄にすることなく使い切る。

②梱包材は、サトウキビ由来ポリエチレン袋、紙製緩衝材など、再生可能な植物由来の梱包

材を使用する。

③塗料は自然由来（ヒマワリ油）の塗料を採用。優しい塗料を使うことで、ここで働く職

人たちはもちろん、その先のお客さまの安心安全で快適な暮らしに繋がる。

④製品を長く大事に使

うことは、ゴミを減ら

ます。

ドアは、内部構造に断熱材を用いた高い断熱

性と気密性を持っています。

ユダ木工の木製玄関

ドアは、内部構造に断熱

性と気密性を持っています。

窓や玄関を断熱化す

ることで、家の断熱性

能がよくなり、夏の冷房や冬の暖房にかかる

エネルギーが少なく済みます。

（脱温暖化センターひろしま）

活用事例の紹介

9月10日に、福山市

泉学区公衆衛生推進委員会が主催する地球温

暖化防止学習会におい

て、「ヒートポンプ実

験器」を活用していました。講座内で

だきました。講座内で

は、エアコンの仕組み

を理解するための体験

